

第2回坂出市学校再編整備検討委員会 会議録（要約版）

日時：令和3年9月14日（火）10時～11時40分

場所：坂出市教育会館2階大会議室

○会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 議事
 - (1) 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の中間報告について
 - (2) 児童数の将来予測について
 - (3) 小規模校のメリット・デメリットについて
 - (4) 教職員用アンケートについて
 - (5) その他
4. 閉会

教育部長　　只今より、第2回坂出市学校再編整備検討委員会を開催します。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止措置等により、当検討委員会の日程が急遽変更になりましたことをお詫び申し上げます。最初に山田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長　　本日はご多用の中、また足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。当初は8月30日に第2回検討委員会の開催を予定しておりましたが、県下・市内における新型コロナウイルス感染症の陽性者の増加を受け、当検討委員会が延期となりましたことへのご理解をお願い申し上げます。

さて、市内の公立小中学校においても、2学期の開始時期を8月25日から9月1日に延期となりましたが、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の対応を行っていく中で、学校教育の役割の重要性を再認識し、学校関係者（学校教育）だけでなく、保護者の理解（家庭教育）や地域の支え（社会教育）が一体となる必要性を痛感しております。

7月29日の第1回検討委員会で試問しましたとおり、委員の皆様方には、短時間の集中的な会議ではありますが、知恵を拝借していただけたらと思います。

教育部長 会議に入る前に、当検討委員会の要綱により、出席委員が過半数を満たしていることから（委員総数 10 名のうち 9 名出席）、会議が成立していることをご報告します。

それでは、議事に入ります。委員会設置要綱第 5 条第 1 項の規定により、会長に議事をお願いします。

会長 それでは議事に入ります。まず初めに、議題（1）「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の中間報告について、を議題とします。事務局より資料の説明を願います。

事務局 （配布資料の説明）

会長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委員 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方において、オープンスペース（柔軟で創造的な学習空間）の確保が挙げられていますが、発達障がいを抱える子どもや周りの刺激に敏感な子どもにとっては、落ち着きがなくなるのではないかと懸念されます。

委員 コロナ時代において、児童生徒間での十分な間隔が確保されていないと不安を抱く子もいますので、学校は安心・安全な場を確保していくことが大事だと思います。また、「主体的・対話的で深い学び」が教育として重要となっている今、小人数グループで話し合い、大人数グループで検証し、学び合うという過程を経る中においては、1クラスの集団は最低でも 20 名程度は必要ではないかと考えます。このような教育を実現する上では、本市の出生人数が激減している状況を考慮し、将来を見据えた校区編成を行っていく必要があると考えます。

会長 次に、（2）児童数の将来予想について、を議題とします。事務局より資料の説明を願います。

事務局 （配布資料の説明）

会長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委員 本市の年齢別人口を見ると、0 歳児と 90 歳がほぼ同数であり、衝撃を受けました。人口減少のピークを踏まえ、今後人口が回復する見込みはあるのでしょうか。

事務局 本市は現在、高齢者数が増加しておりますが、今後は高齢者の人数も減っていくことが予想されています。人口が増加するには、出産数を増加させる必要がありますが、子育て世代の数が減少している状況下において、人口が回復する見込みは難しいと思われま

- 会 長 大都市圏と地方都市圏で出生数を比較した場合、地方都市圏の方が高くなっていることから、若い人を本市のような地方都市に呼び込み、働く場所と子育てのしやすい環境を整えることが大事だと思われま
- 会 長 次に、(3) 小規模校のメリット・デメリットについて、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。
- 事 務 局 (配布資料の説明)
- 会 長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。
- 委 員 少人数の環境に慣れると、今後の大人数の社会集団において人間関係に支障を生じる可能性があると思われるので、社会性を育てる意味では、ある程度の規模が必要なのではないかと思います。
- 委 員 学校運営においては、生徒数に関係なく、たとえ少人数の小規模校であったとしても、中規模校と謙遜のない費用がかかります。生徒が数人いるような学校は、手厚い教育環境を受けることができるのかもしれませんが、予算面も含めて考えていく必要があると思います。
- 委 員 現在、中学校で部活動をする子としない子の中には、クラブチームという選択肢があります。その中で、部活動をする子は、クラブチームに参加する程ではないけれども、何か活動をしたい子どもが多いのではないかという印象を受けております。市で 1 つの大きなチームを作り、その中でチームを分けることが出来れば、活動人数に差が生じるということは解消されるのではないかと思います。
- 委 員 県内の一部の学校では、少子化においても生徒数を増加させている学校があります。学校の教育環境を整備することで、外部の保護者から選ばれる学校にすることが少子化においては重要であると思
- 会 長 次に、(4) 教職員用アンケートについて、を議題とします。事務局より資料の説明をお願いします。
- 事 務 局 (配布資料の説明)
- 会 長 事務局より資料の説明がありました。当資料に関して、委員の皆様からご質問やご意見等がありましたらお願いします。
- 会 長 アンケートはいつ実施する予定でしょうか。
- 事 務 局 この案の内容で検討委員の皆様にご了承していただきましたら、当検討委員会の終了後に実施いたします。
- 会 長 この内容で実施してよろしいでしょうか。
- 委 員 (委員による審議)

会 長 特に意見がないようですので、この内容でアンケートの実施をお願いします。

会 長 それでは議事の最後の（5）その他についてですが、事務局より何かありますでしょうか。

事務局 欠席委員より、今回の資料に関する意見がありますので、事務局よりご紹介いたします。

（欠席委員の意見を紹介）

会 長 委員より、教育の質という観点における小規模校のデメリットと、小中併設校の設置についての意見が挙げられておりましたが、小中併設校の設置については、平成20年度の検討委員会の当初にはなかったものです。今後は小中併設校も選択肢の一つとして検討していく必要があるのではないかと思います。

これまでを踏まえ、委員の皆様からご質問やご意見等がありますのでしょうか。

委 員 あるテレビ番組の中で県内の住みごちランキングが先日紹介されていましたが、坂出市はランキング圏外という結果になっておりました。本市の人口減少は目に見えておりますので、市外の保護者の方が坂出市の学校に通わせたいと思われるような教育環境を整備していくことが大事だと思います。その中で、小中併設校は魅力を高めるための一つの選択肢であるように感じました。

会 長 他に特に意見がないようですので、最後に事務局の方で何かありますでしょうか。

事務局 次回、第3回検討委員会の日程調整をお願いします。

会 長 次回の日程について、10月28日の午前でいかがでしょうか。

委 員 （異議なしの声あり）

会 長 それでは、今回は10月28日、木曜日の10時からでお願いします。

委員の皆様で、そのほか何かありますでしょうか。

（特になし）

会 長 特にないようですので、以上で本日の議事を終了します。次回の議論については、適正な学校規模や学級数、通学距離について議論をし、具体的な問題についても踏み込んでいければと思います。

教育部長 以上をもちまして、閉会とします。長時間に渡りありがとうございました。

以上

以上のとおり相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和 3 年 10 月 5 日

会 長

毛利 猛

会議録署名人

雨霧 壽男